

特集 スポーツ診療における画像診断

ー医療安全上必要なコツと落とし穴ー

introduction

本特集号のテーマを「スポーツ診療における画像診断ー医療安全上必要なコツと落とし穴ー」としました。外来診察や入院患者の主治医として診療を行う際に、鑑別診断や治療方針を決定するに当たり画像診断は整形外科医にとって必要不可欠です。整形外科専門医を目指す医師は、スポーツ外傷・障害や労働災害・交通事故などによる外傷性疾患から、変形性脊椎症や膝関節症などの加齢性疾患、そのほかにも腫瘍や先天異常など多岐にわたり研修する必要があります。特に「医療安全」が大きうたわれ、医療安全教育は医師・メディカルスタッフのみならず、医学生や看護学生などメディカルスタッフを目指す学生にとっても重要な位置を占めています。本特集号を編集するに当たり、若手整形外科医にとって診療に際しての道しるべになることや、専門医試験の症例問題の参考となるように、専門医の先生方には診断の「落とし穴」にはまらず、また「知識の整理」につなげるように執筆をお願いしました。すべての疾患を取り上げることはできませんので、以下の項目に重点をおきました。「総論」では臨床に必要な画像に関して、モダリティごとに撮り方のポイントを記載していただき、「各論」では部位や各種疾患ごとに項目立てて代表的疾患を提示し、医療安全上必要なコツと落とし穴を概説していただきました。

執筆は各分野の第一人者の方々をお願いし、症例提示、画像診断のポイント、オーダー、読影について、系統立てて記載するだけでなく、コツや注意点など必要不可欠な知識も簡単にまとめていただきました。ただ、誌面の制約上、取り上げることのできなかった疾患があることや、執筆にご無理を申し上げましたことを御容赦願います。スポーツ診療にかかわる若手医師から専門医まで、幅広く実臨床において診断の手助けとなり、さらに患者への治療方針の説明に際しても有用な書となると確信しております。また、スポーツ診療における画像診断に関して簡潔にわかりやすく重要な点をまとめて執筆していただきましたので、スポーツ疾患の診療に携わる専門医だけでなく、メディカルスタッフを含めたすべての医療関係者にも役立つものと考えています。

最後に、大変ご多忙のなか、本誌にご執筆いただいた先生方にあらためまして深謝するとともに、本誌が常に診療の傍らに置かれ読者の皆様方の臨床に役立つことを祈念し、序文の挨拶と致します。

宮崎大学医学部整形外科

帖佐悦男